

臨床研究に関する公開情報

【研究課題名】

皮膚潰瘍に対するプロントザン創傷用ゲルの治療効果

【研究責任者】

野口美帆（形成外科 医師）

【研究の背景】

皮膚潰瘍は様々な原因で生じる「キズ」ですが、特に褥瘡（床ずれ）、糖尿病性潰瘍などに代表される「慢性皮膚潰瘍」は治療に時間がかかる「キズ」を指し、毎日の付け替えや長期間にわたる通院、時に入院治療を必要とし、患者さんと家族の皆さんの生活の質を低下させます。形成外科ではこのようなキズの治療を専門的に行っており、より管理しやすく、苦痛の少なく、より早く治癒するような治療を目指しています。

今回使用する「プロントザン創傷用ゲル」はこのような皮膚潰瘍に対して治療効果が優れていると報告されている比較的新しい治療材料で保険適応となっています。

【研究の目的】

この研究では「プロントザン創傷用ゲル」を使用して治療を行う患者さんの経過から得られる情報（キズの大きさ、深さ、付け替えの時の痛みなど）を収集、解析し、どのような「キズ」に対してより有効であるのか検討することで、日常診療に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

研究機関：当院倫理審査委員会承認日～2021年3月31日

対象となる患者さん：2020年4月1日から2021年3月31日までに医療法人城内会八尾病院に入院した患者さんで、皮膚潰瘍の治療でプロントザン創傷用ゲルを使用した

利用するカルテの情報：年齢、性別、転帰、併存疾患、皮膚潰瘍の状態（大きさ、深さなど）、血液検査データ

【問い合わせ先】

本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記までご連絡ください。

研究担当者：野口美帆（医師） 医療法人城内会八尾病院

住所：島原市城内1丁目1193番地 電話：0957-62-5131（代表）